

# R C 潜水艦模型の作成

海人党

まだまだ未熟な海人党ですがR C 潜水艦模型を作成し動かしてみてもう学んだことを報告させていただきます。

私は主にプラモデルを改造してR C 潜水艦を楽しんでいます。30 c m位の小型のものから 1 m位のものまで大きさはさまざまです。

大小のプラモデル改R C 潜水艦を作成し経験学んだことの一つに船体の補強があります。現在市販の潜水艦プラモデルは大部分がディスプレイモデル(一部国産はモーターライズもあります)でしかも外国製です。私の経験上、海外メーカーの潜水艦プラモデルは精度が良くありません。

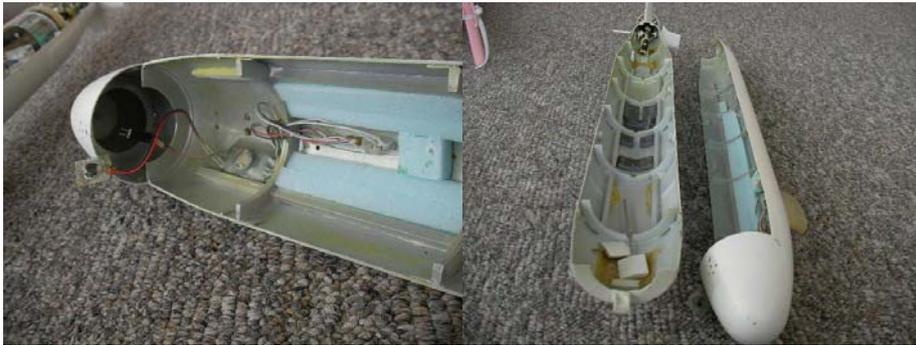
これには 2 点問題点があります。例えば船体上下を組み合わせた時に隙間ができるといったようなことです。もう一点は精度が高くないことによって船体の厚さが均等ではなく薄く弱い箇所ができることです。後者は私にとって大きな問題となりました。ただでさえディスプレイモデルとして製品化されているものですから当然強度はありません。それにR C 機器を積んで走らせるわけですから何か対策は必要になります。

初めて作成したR C 潜水艦は 60 c m位のディスプレイモデルを改造したものです。



船体はほとんど補強せず中に汎用W T Cを入れて走らせました。しかし遊んでいると操縦ミスなどによりプールの壁にぶつかることがあります。スピードが出ていなくてもおよそ 1mm 強の厚さの船体は接着箇所から破折していきます。

次に作成したR C 潜水艦も同メーカーのものでした。これは 90 c m以上の大きさでのものですが船体の厚さは初めのモデルと大差ありません。この潜水艦に搭載するW T Cも 1k g ほどの重量になりますからこのまま補強無しというわけにはいきません。



そこで他のモデラーの方の方法を参考にし、写真のようにプラ板を加工して補強しました。これで十分とは思いませんが強度は大幅にアップし、衝突時の破損は塗装面が傷付く程度に収まります。

プラモデルを RC 潜水艦に改造する場合は可能なかぎり補強することが必要だと思います。現在私は 30 c mほどの小型艦を作成する場合も出来るかぎりの補強をするように心がけています。